

(1) 基準地	①所在地及び地番並びに「住居表示」等		小金井市貫井南町三丁目5 4 8 番9 「貫井南町3-3-21」				②地積 (m ²) ()		188 ()		⑨法令上の規制等			
	③形状	④敷地の利用の現況	⑤周辺の土地の利用の状況	⑥接面道路の状況	⑦供給処理施設状況	⑧主要な交通施設との接近の状況	1 低専 (40,80)		高度(1種) (その他)					
	1:1.2	住宅 W 2	中小規模の一般住宅が多い既成住宅地域	東4 m 市道	水道、ガス、下水	武蔵小金井1.2 km								
(2) 近隣地域	①範囲	東 20 m、西 30 m、南 30 m、北 10 m			②標準的使用	低層住宅地								
	③標準的画地の形状等	間口 約 12 m、奥行 約 15 m、規模			180 m ² 程度、形状 長方形									
	④地域的特性	特記事項	特にない	街路	基準方位北 4 m 市道	交通施設	武蔵小金井駅 西方 1.2 km	法令規制	1 低専 (40,80) 高度(1種)					
	⑤地域要因の将来予測	当該地域は中小規模一般住宅、アパート等が多い住宅地域として熟成しており、当分の間は現在の住環境を維持していくものと思われる。地価は横ばいで推移していくと思われる。												
(3) 最も有効使用の判定	低層住宅地					(4) 対象基準地の個別的要因	方位 +2.0							
(5) 鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法		比準価格 310,000 円/m ²											
	収益還元法		収益価格 167,000 円/m ²											
	原価法		積算価格 / 円/m ²											
	開発法		開発法による価格 / 円/m ²											
(6) 市場の特性	同一需給圏の範囲は、JR中央沿線の小金井市及びその周辺市内に存する最寄駅から徒歩圏の低層住宅地域である。需要者層は主に上記圏域からの一次住宅取得者が多く、区部から転入者も見られる。利便性の比較的良好な地域で、住宅に対する潜在的な需要があり、地価は横ばい傾向で推移している。価格帯は土地120 m ² 程度として、更地で3,500万円から4,500万円、新築建売住宅で5,000万円台～6,000万円台までのものが多い。													
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	当該地域は武蔵小金井駅から徒歩圏の低層住宅地で自用の居住を目的とした取引が主である。同地域には賃貸住宅も見られるが既存地主の経営が多く、賃料水準は地価を十分に反映しているは言い難い。比準価格は類似地域における規範性の高い取引事例を採用のうえ試算したもので信頼性が高い。本件では比準価格を採用し、収益価格は参考に留め、指定基準地との検討も踏まえて鑑定評価額を上記のとおり決定した。													
(8) 公規価示準格価と格しをた	①□代表標準地 ■標準地		②時点修正	③標準化補正	④地域要因の比較	⑤個別的要因の比較	⑥対象基準地の規準価格 (円/m ²)	⑦内訳	標準	街路	0.0	地	街路	+2.0
	標準地番号 小金井		— 6						標準	交通	0.0	域	交通	-4.0
	公示価格		[100.0]	100	100	[102.0]	309,000	補正	環境	0.0	要	環境	-13.0	
	271,000 円/m ²		100	[105.0]	[85.2]	100		画地	+5.0	因	行政	0.0	その他	0.0
								行政	0.0					
								その他	0.0					
(9) 指か定ら基の準換地討	①指定基準地番号		②時点修正	③標準化補正	④地域要因の比較	⑤個別的要因の比較	⑥対象基準地の比準価格 (円/m ²)	⑦内訳	標準	街路	0.0	地	街路	+2.0
	小金井(都)		— 9						標準	交通	0.0	域	交通	+2.0
	前年指定基準地の価格		[100.3]	100	100	[102.0]	310,000	補正	環境	0.0	要	環境	+16.0	
	377,000 円/m ²		100	[102.0]	[121.9]	100		画地	+2.0	因	行政	+1.0	その他	0.0
								行政	0.0					
								その他	0.0					
(10) 対年象標の基準換準価討地格の等前か	①-1 対象基準地の検討			③ 価格変動状況要因の	〔一般的要因〕	コロナ禍により、景気の先行きには不透明感がある。小金井市は人口は増加傾向にあり、地価は横ばい傾向で推移している。								
	■継続 □新規 前年標準価格 310,000 円/m ²					〔地域要因〕	武蔵小金井駅から徒歩圏内の低層住宅地域で、地域要因に変動はない。							
	①-2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討						〔個別的要因〕	個別的要因に変動はない。						
	□代表標準地 □標準地 標準地番号													
	公示価格													
	②変動率	年間	0.0 %	半年間	%									